

安寧

英靈の言乃葉

”民族の誇り”を胸に

海軍少佐 西田高光命

昭和二十年五月十一日神風特別攻撃隊「第五筑波隊」
隊員として「爆装零戦」に搭乗、鹿屋基地を出撃、
南西諸島洋上にて戦死
大分県大野郡合川村出身 大分師範学校
海軍第十三期飛行予備学生 二十二歳

学鷲は一応インテリです。

さう簡単に勝てるなどとは思つてゐません。

しかし、負けたとしても、そのあとはどうなるのです……………

おわかりでせう。

われわれの生命は講和の条件にも、その後の日本人の運命にも
つながつてゐますよ。

さう、民族の誇りに……………

右記の言葉は、西田中尉（当時）が出撃二日前の昭和二十年五月九日鹿児島鹿屋の
野里村（現在は町）の基地に於て、海軍報道班員・山岡莊八氏の質問「この戦を果して
勝抜けると思つてゐるのかどうか？ もし負けても悔いはないのか？ 今回の心境にな
るまでにどのような心理の波があつたか？」に対し返答したものである。尚、本年四月二
十八日は対日講和条約発効（主権回復）五十周年の節目にあたる。

【平成十四年四月靖國神社社頭掲示】

令和四年の本年は講和条約発効七十周年にあたる。

兵庫縣姫路護國神社報
「安寧」第二十七号
発行所 兵庫縣姫路護國神社
〒670-0003 姫路市本町二一八
電話 〇七九-三三四-〇八九六
安寧（あんねい）：世の中が穏やかで平和なこと

ホームページアドレス <http://www.himeji-gokoku.jp/>

▼兵庫縣姫路護國神社創建当時の絵ハガキ



The Himeji spiritium gate.

(姫路名勝) 神威なる姫路招魂社

令和四年度秋季慰霊大祭 齋行

十二月二日 午前十時三十分

秋晴れの中、定刻十時三十分の号鼓とともに宮司以下奉仕する神職、三木英一大祭委員長・三宅崇敬奉賛会会長・柿原兵庫県遺族会長・三木通嗣兵庫県神社庁副庁長が参進し、祭典が始まった。



宮司以下参進

修祓の後、海川山野の神饌を捧げ、茶道裏千家淡交会播磨支部による献茶、宮司祝詞奏上と続いた。玉串奉奠は宮司以下祭員が併せて行った後、三木大祭委員長、三宅崇敬奉賛



献茶の儀

会会長と続き、遺族代表、来賓代表に併せて参列者が参拝した。姫路市民合唱団による合唱奉納は新型コロナウイルス感染防止の為、中止された。

宮司は挨拶で日本各地の祭礼は疫病と深く関りがあり、疫病神を祀り、もてなし、鎮めてお帰り頂く疫病祭が古くから行われてきたことに触れつつ、日本の道徳観や条理は自然とともにあり、私たちに受け継がれた命に対する感謝こそが神を敬う心だと説いた。



宮司挨拶

また、英霊の生前を直接知る、あるいは生前を知る方からの話を聞いた方々は時間とともに少なくなるが、国家・家族を守ろうとした御心を私たちは受け継ぐことができ、私たち子孫の務めは明治以来の戦役、事変、戦争という国家の受難の時代に生まれ、殉じられた方々を讃えることであると述べた。そして国難に立ち向かわれた英霊の大御稜威をいただき令和の御代が平和で国家安泰であることとともに祈りたいと結んだ。

尚、コロナ禍にも拘らず、三百名を超える参列があった。

祭典受付は毎年姫路郷友会（会長村田正克氏）の方々が奉仕している。

コロナ禍でのお正月 新年万燈祭 一月元旦〜十日



鳥居前絵馬

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策下でのお正月を迎えた。天候に恵まれ、参拝者は回復の兆しを見せ、昨年の三倍程であった。コロナ対策として各所にアルコール消毒液が設置され、手指消毒を促すとともに手水舎は流水での対応、鈴の緒は使用禁止となっていた。また三密を避けるため、賽銭箱は横長に広く設置され、おみくじは引く場所と渡す場所が分けられる等工夫がなされていた。

崇敬奉賛会 新年祈願祭 (成人の日)

崇敬奉賛会新年祈願祭は毎年成人の日に行われる。本年は穏やかな気候の中の祭典となった。拝殿は十七名に参列を制限、それ以外の参列者は拝殿前石畳に間隔を空けての態勢であった。祭典は午前十一時に齋行され、三宅知行会長



拝殿内



拝殿前石畳での参列

以下七十一名の参加者は国家の安泰、護國神社の隆昌と崇敬奉賛会の発展、会員の健勝を祈った。尚、直会は新型コロナウイルス感染防止の為に中止された。

建国祭

二月十一日
(建国記念の日)

姫路郷友会、霊友会、隊友会、日本会議の四団体からなる「建国を祝う会姫路実行委員会」の主催の下、紀元二千六百八十二年を祝う建国祭が午前十一時より齋行された。

本年は新型コロナウイルス感染症蔓延防止重点措置実施期間中により、講演会、奉祝式典は中止であったが、参列者は五十名を超え、三木英一実行委員長会委員長の先導の下、櫃原神宮を遙拝した。

祭典終了後、神社からはお餅のお下がりが配布され、参加者は、其々の想いを胸に建国の日を有意義に過ごした。



三木英一実行委員長挨拶

天長祭

二月二十三日
(天皇誕生日)

新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、神職のみで奉告祭を齋行し、陛下のお誕生日を祝った。尚、直会は中止された。

崇敬奉賛会発足十周年 記念式典・記念講演会

令和三年十一月三日、兵庫縣姫路護國神社崇敬奉賛会発足十周年記念式典・記念講演会が「イーグレひめじ」あいめつせホールでおこなわれた。本来であれば、令和二年が発足十年の節目となるが、新型コロナウイルスの蔓延により一年の延期を余儀なくされ、ようやく開催することができた。百十名の会員が参加。この日に合わせ、崇敬奉賛会の十年間の活動を綴った記念誌と御殿の写真が入ったクリアファイルが記念品として配られた。

記念式典は午後一時三十分より始まり、木南一志常任理事が司会をつとめ、三木英一副会長の開会の辞、三宅知行会長が挨拶。前川英昭常任理事が作成した「崇敬奉賛会十年の歩み」の映像を観たのち、深田真史理事が十周年記念事業を紹介し、閉会した。

午後二時より記念講演会が始まり、会員の山本えり氏が司会をつとめた。講師には白駒妃登美氏をお招きし、「歴史が教えてくれる日本人の生き方」と題して講演を拝聴した。白駒氏は講演・著作活動を通して、日本の歴史や文化の素晴らしさを伝えている。講演では護國神社にちなんで国難と戦った人々に焦点を当て、お話しをされた。講演内容の一部を

記しておく。

最初の国難、白村江の戦いにおいて日本は大敗。その後日本まで唐が攻め込んで来なかったのは、日本が防備を固めていたからだという。背景には、唐の都・長安で捕虜として囚われていた日本人、大伴部博麻（おおともべのはかま）が、自らを奴隸として売ることによっての日本人を帰国させ、唐による日本侵略の情報を伝えることができたからである。博麻が帰国できたのは三十年後のことで、当時女性天皇だった持統天皇が博麻にお言葉を与えた。その中に「愛国」の二字が出ており、これが史上初めて「愛国」という言葉が使われた。白駒氏は「真の愛国とは大伴部博麻のような真心であり、その真心の発露が護国ではないか」と語った。

また、白駒氏の歴史観を大転換してくれた



のは、三十代の時に出会ったインドネシアの大学教授だったという。三百年間もの間、オランダに植民地支配されていたインドネシアを日本軍は短期間で駆逐。日本軍は「民族に最も大切なものは独立」であると説き、インドネシアの青年を教育。終戦後も一千人以上の日本兵が残留し、青年達と共に四年半に及ぶ独立戦争を戦った。

一方、インドネシア青年を教育した陸軍中尉の柳川宗成（やながわもとしげ）は「インドネシアの独立はインドネシア人が自らの手で勝ち取らねばならない。自分は見守るのだ」と語り、その後戦犯となるが「何らかの罪があるとするれば、全て自分の罪だ」と毅然と答えた。柳川は一度日本に帰国するも、東京五輪が開催された昭和三十九年にインドネシアに移住。柳川が亡くなった時は、インドネシアの国葬級だったという。

白駒氏はその話を聞いても、大東亜戦争だけが引っかけ、肯定する気になれなかった。しかし、インドネシアの大学教授は「韓国と台湾は日本による統治期間がインドネシアよりも長い、今ではどちらも先進国だ。西洋の植民地とは中身がまるで違う」との言葉に、白駒氏は目が覚め、日本の歴史を振り返ろうと決めたという。「全てを受け入れるだけの潔さ、優しさ、強さが日本人の本質。その本質を取り戻す上で、崇敬奉賛会の活動は大変重要なもの」と講演をしめくくった。

「まんが 護国神社へ行こう！」

山中浩市

昨年十一月に「まんが護国神社へ行こう！」を出版させていただきました。特定の護国神社を想定せず、全国の護国神社に共通する様々な項目をわかりやすく説明した護国神社入門書です。

護国神社について予備知識がまったくないお子様でも、わかりやすいように文章だけの解説書ではなく、「ストーリー漫画」としました。

物語の主人公は中学二年生のお兄ちゃんのもるくんと、小学六年生の妹のミクちゃん、護国神社で狛犬の精に出会い、色々なことを学び気づき、成長していきます。

文字を大きく、また少なくし、漢字にはすべ



てふりがなをつけ、難しい用語には欄外に説明をつけ、読みやすくしました。楽しく短時間に読了できるように、全体で六十頁と薄い本にしました。

全国の護国神社の創建の経緯について、護国神社の御祭神であるご英霊について、神社参拝の基礎知識について漫画でわかりやすく解説。ページ数は少ないながら、本書一冊で、護国神社とはどういう神社なのか理解でき、基本知識が身につきます。

また、護国神社でよくある誤解例えば、

・ご英霊は皆さんからの「お願いごと」が大歓迎であること。

・ご英霊は戦争の「犠牲」になった「かわいそうな存在」ではないこと。

・護国神社を参拝しても「戦争賛美」にはならないこと。

・東京九段の靖國神社に参拝しても、地元護国神社の参拝は省略できないこと。
などについても丁寧に説明しました。

お子様に限らず、兵庫縣姫路護国神社にまだ参拝されたことのない方々、護国神社のことをこれから勉強しようとされている方々がおられましたら、ぜひ本書のご一読をお勧めください。

兵庫縣姫路護国神社の社務所にて頒布中です。
(七七〇円)

プロフィール

山中浩市 (護国神社研究者・フリーライター)

昭和三十一年福岡県北九州生まれ。

同志社香里高校、法政大学経済学部卒業。

大学卒業後メーカー勤務を経て、京都市にて起業。会社経営とは別にフリーライターとしても活躍中。大学生の頃から「戦没者慰霊、英霊顕彰」を目的として靖國神社、全国の護国神社への参拝を行っている。平成二十二年から京都市の京都靈山護国神社で清掃奉仕の活動を主催。護国神社に関する寄稿、講演も多数。著書に『全国護国神社巡拝ガイドブック』(かざひの文庫)がある。

俳句・川柳・短歌の投稿発表

皆様から寄せられました俳句・川柳・短歌を掲載いたします。

提灯を 見付けた顔に 初日さし

(姫路市・伊勢田昌隆・八十八歳)

早春や 寄進提灯 揺らす風

(宍粟市・好美・七十三歳)

提灯が 秋祭りには 極めつけ

(大阪府泉南郡・ホーリー・三十四歳)

提灯の 明かりに杜の 淑気満つ

(京都府福知山市・杉森大介・五十歳)

提灯に 白鷺の城 冴返る

(千葉県船橋市・樽谷幸隆・五十三歳)

ご応募いただきありがとうございます。

尚、兵庫縣姫路護国神社では、新年万灯祭の献灯案内とともに引き続き「俳句」「川柳」を募集しております。

シリーズ 英霊の戦場(六)

郷土の偉人 田中静壹陸軍大将の功績(一)

終戦の聖断を無事遂行させた、たつの市出身

東部軍管区司令官 田中大将を二回に分けて紹介
します。



陸軍大学校長時の田中大将

予め読者の方
にお断わりして
おきます。田中

大将は終戦時、
明治神宮や宮城
の一部を空襲で

焼失し、部下が起こした宮城事件を解決した後、
上司として陛下と国民に責任を採って自決をされ
た為、自伝等は残されていません。

信将と称された田中大将の上司・部下・同級生・
同期生並びに令夫人とご子息等から思い出集をま
とめられた専属副官で元陸軍少佐塚本清(改名後、
素山)氏の著書から大将の略年譜を基に偉人の実
像に迫ります。

田中大将の略年譜

(年代理解の為、西暦を一部付記)

明治二〇年(一八八七)一〇月一日 現たつの
市揖西町小神で出生(父菊太郎、母てるの八人兄
妹の次男、長男を養子に出した為、命名に「壹」
を付けて田中家の跡継ぎを証した)

少年時代

体格が小さくスポーツ等には興味がなかったが
山野での遊びや家事手伝い等で、体力気力は人並
み以上であった。中学生時代は目立たない真面目
で成績の優秀な模範生徒、友人と口論も無く、親
孝行で妹弟の面倒見の良い少年であった。中卒後、
進路を商船、水産講習所、陸士の三点に絞って勉
強。陸軍士官学校を受験後、水産講習所受験の為
上京中、日比谷で日本海戦大勝利祝賀行事に感
動。進路を軍人の道に決心された。

軍人時代(大東亜戦争開始まで)

明治三八年(一九〇五)七月一日 士官候補
生、歩兵第十連隊(姫路)補充大隊入隊
明治四五年(一九二二)四月三日結婚 中尉
旧軍では貧乏少尉に暇なし中尉と呼称されてこ
の階級肩章中は将校としての修養時代で、あらゆる
軍務を体験し、奥の深い軍事知識を自学研鑽す
る等、寝る暇も惜しむ忙さ、そこで母堂が嫁捜し
され、素晴らしい女性「操」様と結婚。後に四人
の男子を授かり、成長過程で父の愛情と背中を追っ
て夫々軍人の道に入られ、然も揃って優秀な成績
で卒業される等軍人一家となられた。

大正二年 陸軍大学校入校 大正五年卒業 成
績の優秀な学生に陛下から下賜される「恩師の軍
刀組」同期生に山下奉文・板垣征四郎(士官学校
同期に今村均)後に三人共大将
大正六年 歩兵第十連隊(姫路)中隊長 大尉
大正八年 英国駐在武官 英国人の心情を理解

するため「シエイクスピア」を研究。

大正一一年 帰国後 参謀本部勤務 少佐
奥保鞏元帥副官兼陸大兵学教官

*田中少佐の活躍、世界に報道される

大正一三年、英米で軍人に依る航空機世界一周
が企画され、田中少佐は英国機を支援することと
なり五百屯の船に飛行機予備エンジンを積載して
カナダ・アラスカ・アリユーシャン列島・カムチャツ
カ半島を英国の支援指示に従って行動したがトラ
ブル続発での不眠不休支援や不時着機の救出等で
疲労困憊にも拘わらず、英国人の冒険魂を称え、
支援の苦勞を微塵も見せず堂々として報道陣に対
応、称賛を受けた。然し少佐は各地、特にカムチャツ
カの兵要地誌を調査、その情報収集分析力は帰国
後評価され軍人魂の範を示した。

昭和二年 メキシコ駐在武官(中佐) 夫人同伴
昭和五年 歩兵第二連隊長(水戸・大佐)
上海・大連で討匪(匪賊：盗賊に似た集団) 作戦
に従事、任務の成果を挙げて治安を回復。

昭和一〇年(一九三五) 歩兵第五旅団長(少将)
昭和一二一年 関東軍憲兵司令官(満洲)

田中少将は自ら規律厳正で正道以外を嫌う人格と
豊かな駐在武官の経験から抜擢。戦火は支那大陸
に拡大の中のため、満洲の治安維持が重視され、硬
軟施策を適切に使われて温情將軍と呼ばれ日滿住
民や警察官等からも慕われ、治安を回復された。
昭和一三年(一九三八) 憲兵隊司令官(中将)
満洲に於ける治安維持の成果を称賛した陸軍は田

中中将に憲兵隊を委ねた。

田中中將は「憲兵隊は無色公正であれ」を信条とされ、精強な軍隊は軍紀厳正であることを憲兵に訓令、国内の治安が乱れると軍の機密が護れない事を重視された。然し、この解釈を拡大した自覚不十分な下級憲兵が国民に横暴な振る舞いがある事を認識され、中將は全国の憲兵司令部を巡回して「憲兵の本領」を説かれた。

昭和一四年八月 第十三師団長 (仙台)

支那冬季作戦に参加 (二月〜一五年二月)

宜昌作戦への進軍経路の匪賊討伐が主体。零下凍土の戦場を休む暇なしの戦の他に重慶軍との戦闘でも意表を突く作戦と粘り強い東北出身将兵の活躍で任務を完遂。

宜昌作戦の概要

昭和一五年 (一九四〇) 五月一日〜七月十日

宜昌は蒋介石司令部の在る重慶から揚子江沿い約四七〇キロ下流にある船舶発着港の要地であり、此処を攻略すれば重慶の政治経済を圧迫し、日本軍 (第十一軍) は和平交渉を有利に進められると判断して作戦を遂行しようとして上奏した。その際、天皇から「交渉する相手にも自尊心がある、宜昌には手を着けるな」とのご内示があった。又重慶軍は冬季攻勢で日本軍に大打撃を与えたと誇大報道で意気軒昂であった。そこで日本軍は宜昌を一旦攻略して日本軍の軍事力を短期間見せた後、後退する作戦に変更して実行することに決心。

然しこの後退行動を蒋介石は重慶軍の戦意高揚や市民に反日集団組織会を結成させる口実として利用した。そこで日本軍は再度宜昌攻略をして日本軍の脅威を示すこととなった。結果として和平交渉は進まず泥沼化した事は終結する見込みのないまま大東亜戦争に突入することとなった。

田中師団長の指揮統率 (地図参照)

第十三師団は五月二日鐘祥付近から攻撃開始。

重慶軍の包囲反抗と師団の邀撃撃滅戦の結果、重慶軍は統率の要であった張自忠將軍 (日本陸士卒業の親日派で温厚篤実な方) が戦死されてから、軍の統制が乱れて各個撃破され始めた。二一日、日本軍も炎熱化の戦闘で将兵が疲労困憊に陥り、兵站活動も限界に達しつつあった。漢水渡河作戦を前にして作戦の中止か続行かの会議が開かれた。

討議の結果作戦継続の意見が採用された。四箇師団で重慶軍四十七箇師団と対戦する戦闘は想像を絶したが、田中師団長は軍の命令に絶対服従の態度を維持され部下を一致団結させた。漢水の奇襲渡河に成功してから主要道路沿いに宜昌まで約二百キロは敵を圧迫しての戦闘続行に歴戦の部下を失う強行軍と激戦続きであった。

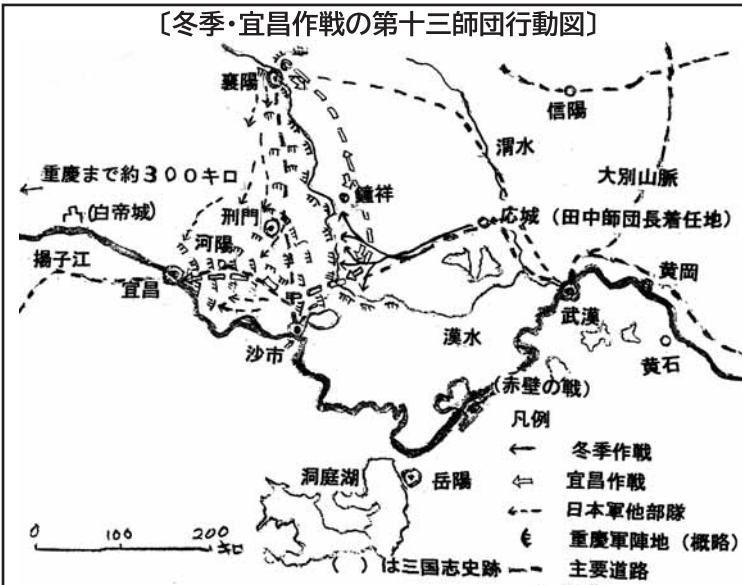
重慶軍は田中師団の追撃速度に脅威を感じて宜昌へ後退、宜昌突入の一番手となった。六月三日、日本軍は宜昌から一旦後退、欧州では独伊軍が武力で仏軍を降伏させる情報に接し、日本軍は再び宜昌を攻略する作戦に変更、第十三師団は揚子江を俯瞰できる高台の占領を命ぜられ激戦の末、奪取。

田中師団長の苦楽を共にする陣頭指揮は部下の戦意を発揮させた。高台確保の苦労も部下を労いつつ戦力回復と軍紀の維持に努められた。又、戦死した部下にお詫びの懺悔を日々欠かさない將軍でもあった。

昭和一五年十月 部下から惜別の声を耳にしつつ離任、再び憲兵隊司令官として東京に着任。
昭和一六年一〇月 東部軍司令官補佐職

(文責 崇敬奉賛会理事 曾田孝一郎)

〔冬季・宜昌作戦の第十三師団行動図〕



参考文献 ああ皇軍最後の日 塚本素山著
防衛省戦史叢書 「支那事变編」

崇敬奉賛会会員募集

日本のために戦ってくれた

英霊を大事にしたいと思う人

先祖を敬う心を持っている人

見えないものを受け継いで

いきたいと思う人

奉賛会に入会して神社を

支えて下さい

我々と共に英霊に感謝し

そして汗をかき、

涙を流しましょう

奉賛会事務局

〒670-0012

兵庫県姫路市本町118

電話 079-224-0896

<http://www.himeji-gokoku.jp/housankai/>

新年万灯祭

献灯のお願い

毎年一月一日から一月十日の間

新年万灯祭を行っています

ご神前に献灯し

神の庭を明るく照らし

心和やかに、心安らかに

新しい年が迎えられますよう

神前献灯に是非お申し込み下さい

お正月を迎えて早三か月が経ちましたが

令和五年以降のお正月の献灯申込につき

まして随時受付けております

献灯初穂料 一灯一万円



新型コロナウイルス感染症 感染予防の対応

春季例大祭について

令和四年五月二日(月)

午前十時三十分斎行

神社と致しましては恒例の祭典

でありますので、神事は必ず斎行

致しますが、昨年の秋季例大祭

と同じくご参列席は、距離をとつ

て設営を致します。

ご参拝の方々はマスク着用の上、

手の消毒をしてご参列下さい。

ご自身のご体調を第一にお考え

いただき、ご無理のないように

お越し下さい。

マスクの着用
手指の消毒に
ご協力ください

